

# 一般質問の通告書 (一問一答方式)

(受付No. )

(発言順 )

	表題	具体的内容	担当課
質問の要旨	1.前回の一般質問後の取り組み状況について	<p>6月定例会で私が一般質問した内容に対し、当局が前向きな答弁をした次の4点について、その後の取り組み状況を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調査の方法を再度検討する」と答弁した震災犠牲者の検証について</li> <li>・「関係者と協議する」と答弁した行方不明者の捜索態勢について</li> <li>・「具体化に向けて検討している」と答弁した民間事業者に対する津波避難施設整備補助について</li> <li>・「前向きに検討する」と答弁した危機管理監の庁議出席について</li> </ul>	
	2.復興事業の交通安全対策のための地区連絡会設置について	<p>震災廃棄物処理では、小泉と階上で地区連絡会を設置して交通安全対策に取り組んだ。復興事業が生活エリアである内陸部でも増加しているが、工事車両の交通量の見込みとピークの見通しを伺う。これから復旧・復興事業が集中する地区に交通安全対策を中心とした連絡会の設置を提案し、市の考えを伺う。また、復旧・復興事業の本格化に伴う道路の損傷と市の対応の状況、今後の抜本対策に向けた取り組みを伺う。</p>	
	3.実現不可能と判断する基準とタイミングについて	<p>震災から3年半。復興計画に盛り込んだり、住民に示したりしている事業の中で、財源の問題などから実現が困難になっている事業はいくつあると市は把握しているのか。鉄路復旧とBRT化のように、将来のまちづくりへ影響している課題もあり、国に財源を頼っている復旧・復興事業の中で実現が困難と判断したものは、市民にしっかり説明して計画を見直すか、アンケートなどで市民の意向を反映した取り組みに発展させるべきだと思うが、市長の考えを伺う。</p>	
	4.復興の「見える化」と市民への情報発信について	<p>①復旧・復興事業が膨大すぎて、市民からは何をやっているのか分からなくなっている。市はホームページでの情報発信に力を入れているが、高齢者には見ていない人が多い。せっかく作成した復興事業の地区全体図、説明会の資料や図面などについて、地域の人が集まる公民館やスーパー、中学校と高校に掲示板を用意して掲示することを提案するが、市の考えを伺う。</p> <p>②復興に関する情報の中で、特に避難道の計画が市民に十分伝わっていないと感じる。集落道や都市計画道路などの名目で計画しているためと考えられるが、実際に避難機能の強化につながる道路整備は市内で何本計画しているのか、市民の安心度を高めるために今後どのように情報発信していく考えなのかを伺う。</p>	
	5.全国からの応援職員確保のための対策について	<p>応援職員を派遣してもらうため、気仙沼市としてどのような点を説得材料にしているのでしょうか。震災から時間が経過するほど派遣元としては協力が難しくなるため、危機管理を学べるプログラムを用意したり、ボランティア休暇を増やして地域との関わりを深めたりするなど、今後は派遣によるメリットの部分を充実させて丁寧に説明するべきだと思うが、市の考えを伺う。</p>	

会議規則第62条第2項により通告いたします。

平成26年9月16日

会派名 未来

議席 2番

氏名 今川 悟 印

気仙沼市議会議長 様